

会 議 録

公開・非公開 の別	【開催日】平成31年4月15日（月） 【時 間】9時55分～10時45分 【場 所】岸和田市役所 新館4階第2委員会室	【傍聴人数】0人 【傍聴室】 岸和田市役所 新館4階第2委員会室
公開		
【名称】第4回岸和田市補助金、負担金等適正化委員会		
【出席者】		
○は出席、■は欠席		
足立委員長	和田副委員長	城戸委員
○	○	○
田中委員	○	
《事務局》行財政改革課：渡辺理事、新内課長、甲地、根来		
【議題等】		
1. 開会 2. 補助金等のあり方・方向性に関する提言書（案）について 3. 今後のスケジュールについて 4. その他		
【会議録概要】		
1. 開会		
事務局から、委員の出席状況を踏まえ、岸和田市補助金、負担金等適正化委員会規則第5条第2項に基づき、本委員会が成立していることを報告。また、岸和田市審議会等の会議及び会議録の公開に関する条例第3条に基づき、本委員会は公開されていること、傍聴者は0人であることを報告。		
事務局から、本日のスケジュール及び予定している議論の到達点について、前回の委員会で頂いたご意見を踏まえ、事務局にて修正した提言書案を確認のうえ、本委員会にて案をかため提言書を完成させて頂きたい旨を説明。		
2. 補助金等のあり方・方向性に関する提言書（案）について		
事務局：（補助金等のあり方・方向性に関する提言書（案）について、配布資料に沿って、前回委員会の意見を踏まえた変更点等を説明）		
委 員：前回の委員会でも質問しましたが、市民に対してわかりやすい資料はどのような形になるのでしょうか。		
事務局：市民に対してわかりやすい資料について、前回の委員会においてご意見頂戴しましたので、資料5のとおり、策定の背景や基本原則、課題と対応、見直しの方向性等をA3大にイメージとしてまとめたものを作成しました。市民に対して周知を行う際にはこれを活用したいと考えています。		
委 員：資料5の市民向け周知資料イメージについて、行政と市民との関係性が見えにくいと思います。一文で良いですので、関係性を示す文章を挿入するか、キャッチフレーズのよ		

うなものがあれば、市民目線でもわかりやすくなると思います。

委員：資料3の提言書（案）における、8ページの「インセンティブ方式」及び「サンセット方式」等について、あまり一般的でない語句ですので、注記で別途説明を設ける等、広く市民にわかりやすくしてください。

事務局：頂いた意見を元に検討し修正します。

委員：資料5の市民向け周知資料イメージについても、「インセンティブ方式」及び「サンセット方式」等について、語句の説明を追加してはどうでしょうか。

また、提言書（案）の9ページ「5 おわりに」の5行目において、「可及的速やかに」が「岸和田市としての補助金のあり方・方向性に関する考え方を整理」にかかっているように読み取れてしまいます。おもむろに「点検に着手する」という誤解をまねく恐れがあります。例えば6行目の「整理した上で、」の句読点をとり、「可及的速やかに、全ての補助金等の点検に着手」することがわかるよう修正してはどうでしょうか。

委員：細かいことですが、提言書（案）の中で西暦と和暦が混在しているので、どちらかに統一するのはいかがでしょうか。また、資料5の市民向け周知資料イメージにおいて、「1 基本方針策定の背景」の後半部分で「平成31年」との記述がありますが、市長への提言が5月であることから、当該部分は「令和元年」に改めるべきと思います。固有名詞として「行財政再建プラン【2019年3月版】」としているならば別だと思いますが。

事務局：ご指摘のとおり修正及び統一します。

委員：市民の声として聞いて頂きたいと思いますが、今回の補助金等適正化では、市民は岸和田市が補助金をどんどん削っていくと捉えています。単に削減する目的のものではなく、インセンティブ方式の導入により、より実効性のあるものにするということを前面に出せば、市民の賛同を得やすいのではないかと思います。

委員：そのとおりで、今回の補助金見直しは一律に削減していくような抑制策ではなく、適正化であることを伝えられればと思います。インセンティブ方式等の導入で、補助団体側の意識を変えていく必要があると思います。

事務局：事務局側としても、行財政再建プラン【2019年3月版】を公表しましたが、どうしても削るという意識が先行していると思います。今までの旧態依然としたお金の使われ方を新たに見直す、より効果的なもの、より活力を生み出すものに変えていく、それが今回の行財政改革プランです。その中の一部に補助金、負担金等適正化があります。補助金、負担金も例外なく今の時代に即した、有効に利用し税の透明性を表に出していくなかで、新しいものを進めていきたいと思っています。

委員長：今後、次のステップで事業仕分けという段階に入ると思います。削ることも大切ですが、今までの業務をどう効率的に行っていくか、かつては必要であったものもあったかもしれませんが、今はニーズにあったやり方が必要だと思います。補助金の抑制ではなく適正化であることのアピールの仕方も考える必要があると思います。職員側は自信をもって行ってください。

委員：行財政再建プランを策定にあたって、パブリック・コメントを行ったと思います。委員

の共通認識として把握しておきたいので、どのような意見が多かったか、又は事務局側が予測していた意見、意見に対する対応の必要性等を教えて下さい。

事務局：補助金、負担金等適正化の上位の位置づけとなる行財政再建プランについて、パブリック・コメントを平成31年2月中旬から3月中旬にかけて実施し、2019年3月版として公表しました。

主な意見としては、本プラン22ページからの「(2) 持続可能な市政運営を実現するための取組」の中における、「幼児教育と保育のあり方」「小中学校の規模の適正化と適正配置の推進」、27ページ「民間活力の活用推進と組織・人員体制の見直し」の「公立保育所の人員体制」、「学校公務員の人員体制」は子供や保護者が普段の生活で密接に関係することから、単に切り捨てるのではなく、適正化を図る中で充実していったほしいといった意見が多くありました。

一方で、行財政再建を進めていかなければならないことは理解している、といった意見も一定数頂いたことも事実です。今回の委員会の中でもご意見頂いたように、これから行財政再建プランを進めていく中で、市民の目線に立ち、丁寧に進めていかなければならないと考えています。

3. 今後のスケジュールについて

事務局：本日の意見を踏まえ完成させた提言書により、5月7日に当委員会を代表して、委員長から市長へ、補助金等のあり方・方向性に関する提言を行って頂きます。その後提言を踏まえ、今年の夏ごろまでに市としての方針を取りまとめる予定です。早いものは2020年度の当初予算へ反映させていきます。

4. その他

事務局：前回の委員会において、委員より、市が策定する方針等は市民にとって内容がわかりにくいとのご意見を頂きました。先ほど委員からの質問により説明させて頂きましたが、今後、方針を策定する際には、本方針の概要をまとめた市民周知用の資料を併せて作成・公表したいと考えています。資料のイメージは資料5のとおりです。

委員：行財政再建プランの4ページ【歳入・歳出決算】の棒グラフにおいて、表示されている全ての年度の歳入額が歳出額を上回っていますが、再三財政危機だと言っておきながら、本当は黒字ではないのでしょうか。

事務局：これは、毎年度の歳出額に対して、新たな起債の発行や基金の取り崩し分を歳入へ計上しているためであり、実際には収支不足が発生しています。

委員長：ほかに意見・質問はありませんか。ないようですので、これをもちまして、第4回岸和田市補助金、負担金等適正化委員会を閉会とします。

事務局：本日の意見を参考に提言書（案）を修正し、5月7日に委員長から市長へ提言を行って頂きます。委員の皆様におかれましては、これまで約1年間にわたりご審議頂き、まことにありがとうございました。

【会議資料】

- ・ 第4回岸和田市補助金、負担金等適正化委員会 次第
- ・ 資料1 第3回岸和田市補助金、負担金等適正化委員会における意見及び意見の反映について
- ・ 資料2 提言書 新旧対応表
- ・ 資料3 補助金等のあり方・方向性に関する提言書（案）
- ・ 資料4 現状分析（課題）分類と見直しの方向性（課題対応策）の関係
- ・ 資料5 補助金等適正化基本方針の市民向け周知資料イメージ

以上